

報道関係各位

2025年4月16日

～業界のカーボンニュートラル化をサポート～

東京都内の建設現場で電気自動車(EV)とEV充電スタンドが正式採用

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、東京都内の建設現場に電気自動車(EV)およびEV充電スタンドを納品し、今年初めから現場での本格的な活用が始まっています。



【EV(電気自動車)】



【EV充電スタンド】

建設業界は、大量のエネルギーを消費する分野として脱炭素化が注目されており、特に現場で使用する車両の電動化は重要な課題となっています。

今回、建設会社のカーボンニュートラル達成に向けた取り組みの一環として、アクティオは電気自動車(EV)とEV充電スタンドを提案し、採用されました。納品した電気自動車(EV)は、現場内外での移動に使用されており、エンジン音や排ガスの発生がなく、より静かでクリーンな作業環境づくりにも寄与しています。また、EV充電スタンドの設置により、日常的な運用が可能となります。

アクティオは、脱炭素社会を実現する商品のレンタルや開発に加え、自社工場内で使用する機械にバイオディーゼル燃料^{※1}を使用するなど、様々な環境負荷低減に取り組んでいます。

^{※1} バイオディーゼル燃料: 飲食店などから回収した天ぷら油など、植物性廃食油を主原料としたリサイクル燃料

アクティオは今後も「レンタルティンク」のノウハウを活かし、業界の環境課題解決に向けた製品やサービスを提供していきます。

■納品した電気自動車

- ・三菱 eKクロス EV×3 台(現場外への移動用)
- ・三菱 ミニキャブ EV×1 台(現場内の移動用)

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、五十嵐

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp